

平成29年度 関東高等学校女子バスケットボール大会
兼 第71回 関東高等学校女子バスケットボール選手権大会

(Bブロック) 1回戦

試合日: 2017/06/10
開始時刻: 11:00~
会場: 船橋市総合体育館
コート: Dコート
試合順: 第2試合(Bブロック)1回戦

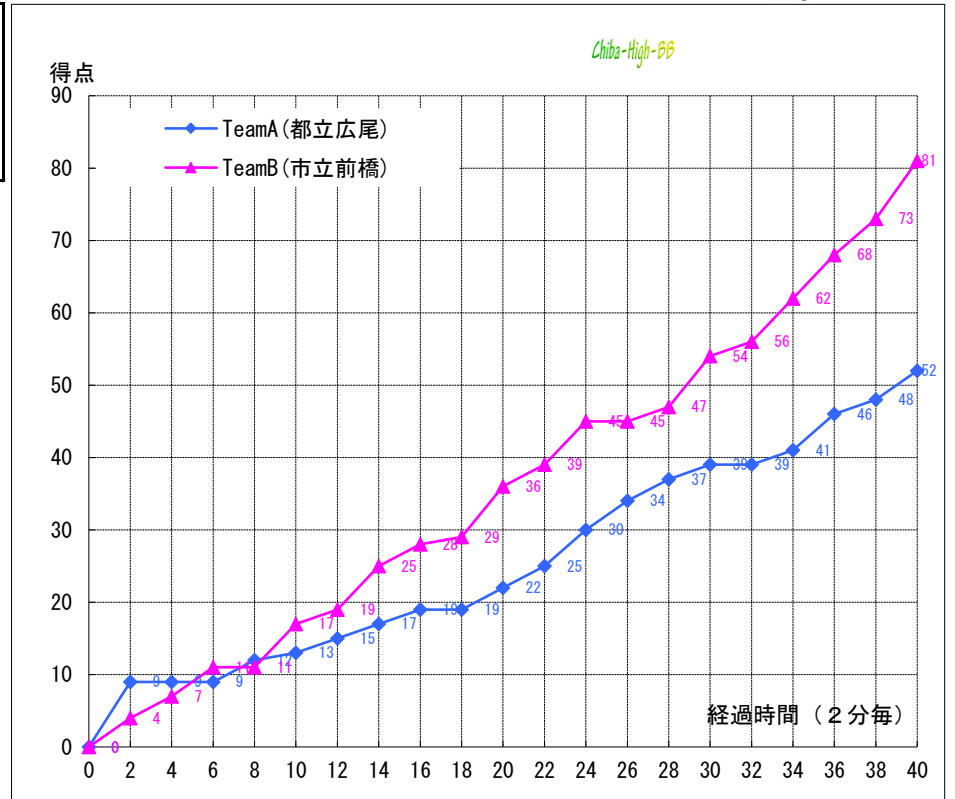
Team A		Team B
都立広尾	52	81
(東京6位)		(群馬2位)

TeamA (都立広尾)

No.	PT	選手名	得点	シュート			反則	リバウンド*			アシスト	ブロックショット	ターンオーバー
				3P	2P	フリース		off	def	計			
4	◎	太田 朱海	19	1	6	4	3	1	5	6	2	0	5
5	◎	中村 安里	18	0	6	6	2	8	4	12	0	1	3
6	◎	寄江 晏羽	0	0	0	0	1	0	3	3	1	0	1
7	◎	渡邊 もも	7	1	1	2	2	0	4	4	0	0	6
8	-	青木 心	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9	◎	上野 晏結	6	0	2	2	3	1	6	7	0	1	1
10	○	福田 楓	2	0	0	2	2	0	2	2	0	0	1
11	○	佐藤 夢花	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
12	-	蔵重 明夏里	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13	-	加藤 柚月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14	-	原崎 ひなた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15	-	村井 ちかこ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16	-	古室 葉奈	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17	-	山下 奈々	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18	-	柿沼 瑞希	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Team / Coach:							0	1	3	4			4
合計			52	2	15	16	14	11	27	38	3	2	17

TeamB (市立前橋)

No.	PT	選手名	得点	シュート			反則	リバウンド*			アシスト	ブロックショット	ターンオーバー
				3P	2P	フリース		off	def	計			
4	◎	秋山 真緩	8	0	4	0	3	1	3	4	2	0	2
5	◎	原田 紗佳瑛	12	1	4	1	2	0	3	3	2	0	2
6	○	鈴木 愛莉	3	0	1	1	0	4	2	6	3	1	4
7	◎	高橋 芹菜	21	3	5	2	3	0	3	3	3	0	2
8	◎	間瀬 未来	2	0	1	0	5	1	3	4	0	0	1
9	○	星野 真里	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	◎	秋山 桃葉	14	0	7	0	5	3	3	6	1	0	2
11	○	笠原 彩愛	4	0	2	0	3	1	0	1	0	0	0
12	○	沼尻 さくら	2	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0
13	○	高木 優芽子	15	3	3	0	4	0	0	0	2	0	1
14	○	池田 希瑚	0	0	0	0	0	0	4	4	1	0	2
15	○	永井 利奈	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
16	○	橋本 日和	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
17	○	横田 楓	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
18	○	遠藤 実咲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Team / Coach:							0	3	11	14			2
合計			81	7	28	4	26	13	33	46	14	1	18



	前半(1・2P)リボト*	後半(3・4P)リボト*	延1	延2	延3	延4
TeamA	15:10	33:29				
TeamB		21:30 38:31				

【戦評】

都立広尾は1-2-2のオールコートゾーンプレスから3-2のハーフコートゾーンディフェンス、市立前橋はオールコートマンツーマンディフェンスでスタート。都立広尾が#7の3Pで先制すると、市立前橋#5が取り返すなど序盤は点の取り合いに。しかし市立前橋はオールコートディフェンスで相手のミス誘い、速攻や1対1で加点し、一歩抜け出す。13対17で第1ピリオド終了。第2ピリオド、互いに流れがつかめない中、残り5分で#13の連続3P、#6のゴール下で9点差になったところで、都立広尾がタイムアウト。しかしその後も、市立前橋のペースで試合は進み、#7が速攻に3Pと幅広い活躍を見せる。都立広尾は#5がインサイドで奮闘するも、22対36で市立前橋リードで終了。後半、都立広尾は3-2ゾーンディフェンスで積極的にダブルチームを仕掛けに行く。これが功を奏し、速攻から#5の連続バスケットカウントや#4のドライブで残り3分に8点差まで追いつける。しかしここから市立前橋は、#13#7#10が連続で決め、追いつかせない。点差ほぼ変わらず、39対54で第3ピリオド終了。第4ピリオドも都立広尾は、オールコートディフェンスを継続、市立前橋は落ち着いて対処し、#10#4がミドルシュートを高い確率で決める。市立前橋はディフェンスでも疲れが出る時間帯で際立っていた。逆に都立広尾は足が止まり、第4ピリオドは13対25と、市立前橋が圧倒。52対81で市立前橋が2回戦へ進出した。

審判 大川 尚 / 小池 直人 /

記入者 長谷部 晃生 昆 悠大